年々向上する大学オーケストラたち

——93年12月12日，東京芸術劇場「全日本大学オーケストラ大会」より

神戸大学交響楽団

全国にある大学オーケストラが一堂に会して互いの音楽を披瀝しあう「全日本大学オーケストラ大会」が93年12月12日東京池袋の東京芸術劇場大ホールで開かれた。近年は参加希望も増え，公開抽選で当選しなければ出場できないという狭き門となったが，出場した各団体ともそれぞれ得意のレパートリーで技を競った。年々レベルが向上し，甲乙つけ難い演奏が続いたが，初出場の神戸大学交響楽団は難曲《トリスタンとイゾルデ》に挑み，各パートの練り上げも見事な演奏を披露し，次回の優先出場権を得た。

Photo：竹原伸治

『音楽の友』より

『音楽芸術』より

第8回全日本大学オーケストラ大会終わる

神戸大学交響楽団がワーグナーを好演

全国の大学オーケストラが日頃鍛えた技を披露しあう「全日本大学オーケストラ大会」が93年12月12日東京・池袋の東京芸術劇場で開かれた。

今回の参加希望は全部で26団体に上り、演奏時間の関係から抽選で選ばれた13大学のオーケストラが出場した。回を重ねるに従い、この大会の存在も認識されてきたためか、年間のスケジュール編成にもの大会の期日と関連づけた大学もあり、特に定期演奏会に向けての練習計画と、この大会への出場をうまく組合わせた大学が演奏の仕上げにも好結果を出している面も見られた。

コンクールではないので順位はつけないが、当日の講評委員として演奏を聴いた音楽家たちにより高い評価を受けた神戸大学交響楽団とお茶の水管弦楽団が講評委員特別賞を受賞した。この2団体は練習指揮者が指揮をとったが、指導しているプロの指揮者の教えを団員自身がよく消化し、自分たちの音楽として身に付けた成果が今回の演奏によく表れていた。また、成蹊大学管弦楽団、日本大学管弦楽団、同志社交響楽団が講評委員奨励賞を獲得したが、これらの団も音楽に取り組む真摯な姿勢が感じられる演奏であった。アマチュアではあり、数々の制約のある中で十全の演奏は望むべくもないが、音楽をするよろこびを聴く人に伝える熱気のある演奏を期待したい。

朝日新聞より

神戸大学にも講評委員会賞

オーケストラ大会

第八回全日本大学オーケストラ大会（財団法人ソニー音楽芸術振興会主催、朝日新聞社ほか後援）がこのほど、全国の十三大学が参加して、東京・池袋の東京芸術劇場大ホールで開かれた。講評委員会賞には、神戸大交響楽団、お茶の水管弦楽団が、また講評委員会奨励賞には成蹊大管、日大管、同志社管が選ばれた。

歳末助け合い寄金

朝日新聞大阪厚生文化事業団へ　四万円　大丸神戸店（百貨店協賛寄金）▽三万円　明石市　永井なつ子▽一万円　東灘区　中沢佳生▽五千円　尼崎市　匿名、川西市　石塚幸三▽二千三百二十二円　西宮市　中村姫（敬称略）